

7月30日(火) 18:30 ~ 20:30

まつもと市民芸術館主ホール



presents
ゲストコンサートプログラム

1. 幻想小曲集 シューマン
Fantasiestücke, Op.73 Robert Schumann
1. Zart und mit Ausdruck
2. Lebhaft, leicht
3. Rasch und mit Feuer

フルート: 宮前 文明 Flute: Takeaki Miyamae
ピアノ: 東 誠三 Piano: Seizo Azuma

2. ヴァイオリン & ピアノ
協奏曲 イ短調 作品 3-6 第 1 楽章 ヴィヴァルディ
シチリアーノ パラディス (ドゥシェキン編)
「妖精の踊り」のテーマ パガニーニ
フランクールの様式によるシチリアーノとリゴードン クライスラー

ヴァイオリン: 館 ゆかり Violin: Yukari Tate
ピアノ: 東 誠三 Piano: Seizo Azuma

— 休 憩 —

3. ピアノトリオ 第 7 番 変ロ長調 作品 97 「大公」 ベートーヴェン
Piano Trio No.7 in B-flat major, Op.97 "Archduke"
..... Ludwig van Beethoven

1. Allegro Moderato
2. Scherzo. Allegro
3. Andante cantabile ma pero con moto. poco piu adagio
4. Allegro Moderato-Presto

ピアノ: 東 誠三 Piano: Seizo Azuma
ヴァイオリン: 江口 有香 Violin: Yuka Eguchi
チェロ: 林 峰男 Cello: Mineo Hayashi

プロフィール



江口 有香 (ヴァイオリン)

3歳よりバイオリンを始める。8歳-15歳の間、毎年鈴木メソッドテンチルレンの一人としてニューヨークのカーネギーホール、シドニーのオペラハウスなどを含む世界各地のホールで演奏する。桐朋女子高等学校音楽科に在学中。第55回日本音楽コンクールバイオリン部門にて第一位。その後渡米しインディアナ州立大学音楽学部に入學。在学中にワシントン国際コンクール第4位。同大学

卒業後、同年パガニーニ国際バイオリンコンクール第3位。帰国後は、ソロ活動のほか、アンサンブル活動や後進の指導にもあたるなど、幅広く活躍。2006年～2011年、トウキョウ・モーツァルト・プレイヤーズ・コンサートマスター。2007年～2014年、日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター。2013年に東京トリオを結成(pf.鳥羽泰子、vc.江口一)。ソロ活動や室内楽活動にも取り組んでいる。2015年よりニュージーランド交響楽団アシスタントコンサートマスターを務めるほか、国内のオーケストラのゲストコンサートマスターも務める。2018年より才能教育研究会特別講師。徳間ジャパンより6枚のCDを発売。これまでにバイオリンを蔵持典与、安田廣務、故・鈴木鎮一、小林健次、故・J・Gingold、故F・Gullis、Yuval Yoron、室内楽をJ・Starker、G・Sebok 各氏に師事。

宮前 文明 (フルート)



9歳よりスズキ・メソッドでフルートを始め、高橋利夫氏に師事。2年弱で同メソッド全課程を修了。1977年自匠マルセル・モイズ氏のマスタークラスを最年少11歳で受講。12歳より北米を中心にソロリサイタル活動を行い、アメリカ・スズキ・フルートスクールの設立に貢献。1991年横浜市立大学医学部卒業後、医師免許・医学博士を取得。同大薬理学教室にて神経科学研究に10年間携わった後、音楽活動を再開。トリニティ・カレッジ・ロンドン演奏家ディプロマ取得。レオポルド・ベラン国際音楽コンクール第一位ほか受賞多数。国際スズキ・メソッド音楽院フルート科特別講師、アメリカ・スズキ協会認定フルート指導者、Levine Music フルート科講師 (ワシントンDC)、ピッツバーグ大学医療センター精神医学部門上席研究員。2017年開始の東京大学酒井邦高研究室とスズキ・メソッドとの共同研究「脳科学的」音楽教育へ共同研究者として参加。総説「音楽経験と脳 - 音楽演奏経験がもたらす脳の可塑性」(Brain and Nerve 神経研究の進歩 2018年6月号 - 芸術を生み出す脳 医学書院)。

林 峰男 (チェロ)



幼少より才能教育にてチェロを学ぶ。桐朋学園において斎藤秀雄氏に師事。その後、ジュネーブ音楽院を第1位で卒業。翌年スイス・ローザンヌ室内管弦楽団のソリストとしてヨーロッパにおいてデビューを飾った。1975年、ベオグラード国際チェロ・コンクール第1位に輝く。76年にはワシントンDCとニューヨークのカーネギーホールでのリサイタルを開き、アメリカ・デビューを果たした。また、翌年にはスペインで開催された「カザルス生誕百年記念コンサート」に招待され、日本を代表するチェロ奏者として高く認知された。無伴奏のチェロ曲を集めたCDも欧州と日本で発売され、現在も隠れたベストセラーとなっている。95年にはカザルスホールにおいて「デビュー20周年4日連続演奏会」を開催。現在、才能教育研究会特別講師を務めるなど、後進の指導にも力を注いでいる。



館 ゆかり (ヴァイオリン)

3歳から才能教育でヴァイオリンを始める。12歳より鈴木鎮一氏に師事。9歳から日本各地、南北アメリカ、カナダで演奏旅行後、ニューヨーク、ボストン、シカゴなどでデビューリサイタルを開き、高く評価される(ストラディヴァリウスを使用)。19歳の時、鈴木鎮一氏、井深大氏(ソニー)からの援助、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院へ入学。ベネデッティ氏に師事。ブルミエプリ、ブルミエノメ(1位首席)で卒業。室内楽をユーボー氏に師事。バスカル・ドゥヴォワイヨン(ピアニスト)とデュオを組み、ブルミエプリで卒業。大学院で研鑽を積み、オークレー、ギンゴールド、コーガンの各氏に師事。その後ドゥヴォワイヨン、スティーン・イツァリス(チェロ)とトリオを組む。その後フランス・フィルハーモニック管弦楽団のソリストたちともサルトリ六重奏団を結成。ヨーロッパで演奏活動を続けている。シラク大統領(当時)の要請により、パリ市で初めてのスズキ・メソッドのクラスを設立。フランス、イタリア、日本でマスタークラスなど、後進の指導にあたる。現在、才能教育研究会ヴァイオリン科特別講師。

東 誠三 (ピアノ)



5歳よりスズキ・メソッド 片岡ハルコ氏のもとでピアノを始める。東京音楽大学付属高校から東京音楽大学に進み、83年、第52回日本音楽コンクール第1位。卒業後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留學。数多くの国際コンクールに優勝・入賞し、演奏活動に入る。国内はもとより、ヨーロッパ、北米などでリサイタル、オーケストラと共演。98年、第24回シヨパン協会賞を受賞。CDはセイコーエプソンより多数発売。2008年より福島・三春交流館「まほら」にて開催されたベートーヴェン: ピアノ・ソナタ全曲演奏会シリーズは好評を博し、そのライブ録音CD全9集はいずれも高い評価を受けている。12年にはジュネーブ国際音楽コンクール・ピアノ部門審査員を務めた。現在は活発な演奏活動とともに、東京藝術大学教授を務めるほか、東京音楽大学客員教授として後進の指導を行っている。才能教育研究会ピアノ科特別講師。

■入場料: 1,000円

■お問合せ: 0263-32-7171 (才能教育研究会本部事務局)